

毎週日曜発行

2024 1/14

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

みんな絵本は好き？
自分で読むのもいいけれど、読んでもらったり読んでもあげたりするのも楽しいよね。大崎市の岩出山高は、小学生に読み聞かせをしてるんだ。絵本を介して学び合う場合は、



地球のためにできること

児童に絵本読み聞かせ

4 質の高い教育をみんなに



想像力や思いやりを育む

国連の持続可能な開発目標（SDGs）の4番目「質の高い教育をみんなに」に通じるよ。



2023年12月4日朝、岩出山高3年の谷代乃々さん（18）、菊地萌依さん（18）が本を手に隣の岩出山高を訪れ、3年の2クラスで読み聞かせをしました。

谷代さんは「としょかんライオン」、菊地さんは「なまめのないねこ」を語りかけるように読み進めます。児童は興味を持って聞き入りました。

活動後、谷代さんは「差別の意味を伝え、やわらかい考え方を教えてくれる本。真剣に聞いてくれた」。菊地さんは「少し

難しいけど、いろんなことに気づける内容。よく聞いてくれて達成感があった」と語りました。活動は19年6月に始まり、3年家庭科の選択科目「子どもの発達と保育」で行います。蘇武麻衣子教諭（53）は「小学校と連携し地域の協力を得て取り組んでいる」と説明します。

1月に生徒2人が同行し、月1、2回実施。本は同高図書室の約200冊を使い、本選びや読み方は司書も支援します。



とうれしい。人前で話す体験は将来役立つ」。泉新汰さん（17）は「小さい子との関わり方を学べた。後輩に活動を続けてほしい」と語ります。蘇武教諭は「生徒の自信に満ちた姿を見るのがうれしい。読み聞かせは双方のコミュニケーションで想像力と思いやりを育む。今後も続けたい」と期待しました。



①児童に手作り絵本を読む岩出山高の谷代さん＝大崎市の岩出山高
②絵本の読み聞かせ活動を担当する岩出山高の生徒



今週の注目ニュース

◇17日（水）お年玉付き年賀はがきの抽選日
毎年恒例の抽選会が行われます。1等は現金30万円などで、100万本に1本の割合です。2等はふるさと小包、3等はお年玉切手シート。みなさんの家に届いた年賀はがき、当たるといいですね。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる！ こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ